

安倍辞職!!「私の特別月間」と9月議会に向けて汗を流そう!

新型コロナウイルス感染症拡大防止体制の強化を求める意見書(案)

本県において、7月中旬以降の第2波とも呼ばれる新型コロナウイルス感染症拡大に際し、県民の不安と緊張感が高まる中、8月6日に再び愛知県緊急事態宣言を发出され、県民の命、くらしを守るための様々な施策や、それらの情報発信等による成果が期待される所である。

そして知立市においては、4月に1名の感染者が出て以降はしばらく小康状態であったが、7月22日以降、連日感染者の報告があり、8月18日時点では33名を超える感染者が発生しており、多くの知立市民が今後の動向に不安を募らせている。

このような状況の中、感染拡大を抑止するには、無症状や軽症を含む感染者を早期に見出し、症状に応じた医療と隔離を行うことが必要とされているが、5月11日に貴職を含む18名の道県知事の連名で「感染拡大を防止しながら一日も早く経済・社会活動を正常化し、日常を取り戻すための緊急提言」を表明し、その中でPCR検査の拡充を含む措置を講じることを国に緊急提言された。

現在の本県の状況は予断を許さない状況にあり、今後秋から冬に向けて更なる感染拡大が予想されており、対策は急務となっている。

よって、知立市議会は、これらの状況を踏まえて、以下のことを強く求める。

- 1 国に対して、引き続きPCR検査の抜本的な拡充を強く要請すること
- 2 感染症が疑われる人が速やかにPCR検査を受けられるよう、医療機関等と協力し、検査実施場所を県下各地に設置すること
- 3 クラスターの発生を防ぐため、医療機関、介護・福祉施設及び保育・教育施設の職員にPCR検査を積極的に実施すること
- 4 陽性者が大幅に増加した場合に備え、病床と軽症者のための宿泊療養施設の更なる確保に努めること
- 5 不安を抱える県民の相談に応えられるよう、保健所の機能を充実させること
- 6 感染者の感染経路や傾向を、可能な限り県民に広く公開すること
- 7 感染者の報告だけでなく、東京都同様に既に退院等した人数も報告すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年8月 日

知立市議会

提出先
愛知県知事

9/26
8月臨時議会

知立市議会
県への意見書を採択



26日、知立市議会は8月臨時議会で、**やたね** 日本共産党市議団が原案を作成し提案した案文をもとに、愛知県知事あてにPCR検査の拡充などを求める意見書を全会一致で可決しました。

感染者の情報を自治体とも共有することや、保健所の機能を拡充させることも求めています。

国だけでなく、感染症対策について基本的に責務を持つ県に対する意見書は重要です。

PCR検査の拡充や自宅療養への支援などでは新たな動きが愛知県から出てきました。自治体から、地域から愛知県への要望を集中させる時です。

**PCR検査の拡充を求め
要請署名は、9月9日に愛知県と
名古屋市に提出する予定です
集約を急ごう!**

尾東地区議員団 すやま予定候補と 瀬戸保健所を訪問

22日、尾東地区議員団総会がすやま初美7区予定候補も参加して開かれました。

岡寄自治体局長の訴えを読み合わせ、特別月間の取り組みを話し合いました。

9月議会に向けてコロナ対策なども情報交流。28日に議員団として所管の瀬戸保健所を訪問、感染者の情報共有などについて懇談しています。



尾北地区議員団 地域医療の拠点 = 江南厚生病院たずね懇談

三輪江南市議、岡犬山市議、荒木扶桑町議は27日、江南厚生病院を訪ね朱宮事務部長と懇談しました。



愛知社保協からお知らせ

国保改善運動交流集会

国保の現状と2021年運営方針改定に向けた課題 講師=長友薫輝三重大学教授
・9月27日(日) 労働会館東ホール

自治体キャラバン

10月20日~23日を中心に5コースで実施
県交渉11月25日 名古屋市交渉11月2日

新型コロナ関係 自治体アンケート

結果を冊子にまとめました。近日中に地区委員会経由で各議員あてにお届けします。